

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 1 1 月 2 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472501562		
法人名	医療法人社団 あんず会本田クリニック		
事業所名	グループホーム 金泉 (金泉)		
所在地	広島県東広島市安芸津町三津4333-1		
自己評価作成日	R 3 年 1 0 月 2 2 日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhvu_detail_022_kihon=true&JigvosvoCd=3472501562-00&ServiceCd=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 FOOT&WORK
所在地	広島県安芸郡海田町堀川町 1 番 8 号
訪問調査日	令和 3 年 1 1 月 2 6 日 (金)

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

一人一人のペースで過ごしていただける様、支援している。一人一人の能力に合わせて、食事の準備や洗濯、おやつ作りなどは一緒におこなっている。入浴は各人ごとに湯を張り変え、各人が入りたい入り方ができる。
敬老会や忘年会では、地域の仕出し屋で昼食を配達してもらい、お食事を食べて頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホーム金泉は、静かな住宅街に位置していて敷地は広く、併設してデイサービスを開設している。コロナ禍以前は、利用者同士の交流が持てる環境になっていたが、現在は交流をやめている。管理者と職員は、グループホーム会議やカンファレンスで、利用者が笑顔で楽しく、幸せを感じられる生活を送れるように、事例検討をしてケアを振り返っている。この1年、コロナ禍にあって、家族との面会の制限や、外出の制限を余儀なくされた利用者に寄り添われ、家族の不安を軽減させる為に、職員が付き添っての窓越しの面会を工夫している。利用者の様子を家族に知らせる手紙に、写真とコメントを添え、事業所だより「きんせん」を加えて郵送している。家族の来所時には、管理者や計画作成者が、介護の状況を詳しく説明する等、どうすれば自分達が課題に対応する事が出来るかを考えながら、支援に取り組んでいる。近年の豪雨災害で、地域の一部が被害に遭っており、職員が応援に出かけている。それらの事があり、災害対策を検討し、利用者の部屋の一部を2階に移す等、災害対策を早急に講じている。

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年10月22日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472501562		
法人名	医療法人社団 あんず会本田クリニック		
事業所名	グループホーム 金泉 (あんず)		
所在地	広島県東広島市安芸津町三津4333-1		
自己評価作成日	令和3年10月22日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=3472501562-00&ServiceCd=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 FOOT&WORK
所在地	広島県安芸郡海田町堀川町 1番8号
訪問調査日	令和3年11月26日(金)

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

食事の準備や洗濯、おやつ作り等、一人一人のできる所を一緒に行うように支援している。ご本人のペースで生活できるように起床時間や排泄誘導などそれぞれのペースで行なえるように対応している。できるだけ日中は布パンツを着用して頂き、排尿パターンを考えたトイレ誘導を実施している。入浴も各人ごとに湯の入れ替えを行い、その方が入りたい入浴法で入浴できる。敬老会や忘年会では、地域の仕出し屋でお食事を運んでもらい、食べて頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

グループホーム 金泉(金泉)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を見えるところに貼り、出来るだけ笑顔で入居者と関わられるよう努めている。	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念「安心・信頼・笑顔」を、玄関・各ユニット・管理室に掲示している。職員は、毎日出勤時に確認し、理念を共有している。職員会議で話し合い、コロナ禍の中でも、利用者が事業所内で楽しめるよう、行事等の工夫をする等、理念を日々のケアに反映させるよう取組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍で地域との交流はほとんど行っていない。	町内会に加入していて、回覧板を閲覧して、地域の情報を共有している。コロナ禍以前は町内会の餅つきに参加し、お餅の配布をしていたが、中止になっていて、町内会の他行事も中止となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を書面上で開催し、地域の方々の理解に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は書面で意見交換を行い、会議録を開示して入居者や家族に知らせている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、自治会長・民生委員・区長・地域包括支援センター職員等が参加して、利用者状況や行事報告、行事予定、事故・ヒヤリハット報告等を行っていたが、コロナ禍への対応の為、電話・書面で、意見や要望を聞き、情報交換して会議で検討し、運営推進会議資料を送付している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	コロナ禍のためオレンジアドバイザーとしての活動は少ない 空室情報など伝えている	市担当者とは、書類提出や運営推進会議資料(状況報告、行事記録、事業所便り等)の郵送や、電話等で情報交換を行い、相談して協力関係を築いている。地域包括支援センター職員とは、運営推進会議資料の郵送や、電話等で情報交換を行い、相談して連携している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束等については定期的に研修を行い、玄関の施錠は夜間のみ時間を決めて施錠するようにしている。	3ヶ月に1回、身体拘束適正化委員会を、研修も含めて開催している。身体拘束に関する研修を実施する他、身体拘束適正化委員会で、事業所内での事例や、スピーチロック等の事例検討を行ったり、職員会議でも話し合っており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。気になる所があれば、管理者が指導したり、職員間で注意し合っている。玄関の施錠は、夜間のみしているが、外に出たい利用者があれば、工夫して気分転換等の支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修などで学び虐待防止に努めている。		

グループホーム 金泉(金泉)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	社内研修で学んでいる。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、意見を伺いながら話し合いを行い、理解、納得を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の面会時などに近況報告する中で、意見や要望を伺い、対応できるように努めている。	毎月の請求書送付時に、日頃の写真と職員が手紙を添えて送付し、2ヶ月に1回、事業所便り「きんせん」を送付し、意見を出しやすいよう工夫している。窓越しでの面会時や電話等で、家族からの意見や要望を言いやすい関係作りをしている。それらの意見や要望は、会議で検討し運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	GH会議で要望を聞き取り、ユニットで声を掛けたり、話す時間を設けたりし意見や要望を聞き代表者会議等で反映させている	朝夕の申し送り時に、意見や提案を聞いている他、管理者は、日常業務の中でも意見や提案を聞いて、その場で話し合ったり、代表者会議で検討している。コロナ禍の中でも、利用者が楽しめるよう、職員の意見や提案があり、行事の企画等に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職場環境などアンケートを実施し、改善を図っている部署会議等でも職員に要望聞いたり、出来るかぎり職員の想いに添えるように努めている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部へ研修など情報提供し希望に添えるように取り組んでいる 施設内研修も定期的実施 社内研修は年6回実施し、その他自己啓発に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	安芸津地域の医療、介護の管理者のグループに参加しており、災害時の取り組みや支援やその他各事業所の取り組みなどを 情報共有している		

グループホーム 金泉(金泉)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	個別に関わる時間を積極的に設け、良好な信頼関係が築けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居時は細かく話を伺い、適切な対応ができるよう心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要とされることに対して、柔軟な対応ができるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の意見を尊重し、主体性を大切にできるよう努めている。		
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族の希望を伺いながら良好な関係作りができるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	なじみの物や病院などの希望があれば利用している。	コロナ禍の中、知人の来訪や家族との外出等は制限されている。家族とは自室を使わず、窓越しの面会(10分から15分)が出来る様に工夫している。電話や、できるだけ自筆で書いた手紙や年賀状等で、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者同士が良い関係が築けるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相談があった時など、支援に努めている。		

グループホーム 金泉(金泉)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	関わる中で、本人の意思や希望を伺いながら対応できるように努めている。	入居時に、家族から本人の暮らしの様子、暮らしの情報を聞き、フェイスシートに記入して、本人の希望に沿った支援に努めている。職員は「介護記録」に、利用者の日常生活の状況や、本人の気持ちや発した言葉、その背景を記入して、利用者の意向や思いを把握し、共有するように取り組んでいる。困難な場合は、職員間で話し合い、本人本意に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人や家族からアセスメントを行い把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の状態を記録に残し、状態把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	カンファレンスやモニタリング・評価を定期的に行っている。家族面会時には話を伺い、意見を参考にしている。	計画作成担当者と、かかりつけ医・職員・隣接の看護師等が中心となって、利用者の状況に応じて、随時、カンファレンスを行い介護計画を作成している。月1回モニタリングを行い、6ヶ月毎にカンファレンスを行い、介護計画の見直しをしている。利用者の状態の変化や要望に応じて、その都度見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の生活記録を記録、申し送りに残し、情報共有に努め、毎月モニタリングを行い介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	コロナ禍の為、外部の方との接触や外出は行えていないが、同敷地内の露天風呂を借りて入浴したりすることがあった。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	訪問美容や訪問歯科は定期的に利用しており、個々の状態を把握して、生活の中で安心・安全に暮らせるよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	週1回の主治医の訪問診診があり、その他の方は掛かりつけへ定期的に受診している。	本人、家族の希望するかかりつけ医としている。協力医療機関がかかりつけ医の場合は、毎週1回、往診している。他科受診は、家族の協力を得ての受診支援が基本だが、コロナ禍の為、職員が対応している。歯科は、必要に応じて先生が往診している。夜間や緊急時には、24時間体制の協力医療機関と連携して、適切な医療が受けられるように支援している。	

グループホーム 金泉(金泉)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>特変時や必要時には報告、相談し、アドバイスを得ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は情報提供を行ったり、看護師や地域連携室との情報交換をとるよう努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>高齢に伴い、今後どのように終末期を迎えるか等、必要に応じて話し合いを行い、対応できるよう努めている。</p>	<p>重度化や終末期に、事業所が出来る事を、契約時に家族に説明し、同意書を交わしている。実際に重度化した場合は、早い段階から家族と話し合い、意向に添って医師や管理者、職員が話し合い、方針を決めて共有し、医療機関や他施設への移設も含めてチームで支援に取り組んでいる。看取りはしていない。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルを作成し、消防による指導を受け、勉強会を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練を定期的に行い、緊急連絡網で必要時は連絡をとれるようにしている。</p>	<p>年2回(内1回は消防署の協力を得て)、日中・夜間の火災を想定した通報訓練、避難訓練、消火器の使い方、防災機器の場所の確認、避難経路の確認を利用者も参加して実施している。近年近くで水害が発生しているので、災害対策について、職員は研修し、地域の方と連携するよう協力体制を構築している。事業所内の対策も講じている。</p>	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	<p>入居者の方の尊厳を大切にして、言葉かけや対応に注意して接するように心がけている。</p>	<p>職員は、内部研修(介護職場のマナー、接遇、プライバシー保護)で学び、利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。不適切な対応は、管理者が指導している。個人記録は適切に管理し、守秘義務は徹底している。</p>	<p>研修等積極的に行っていますが、更なる利用者に対しての良質なケアを実践する為に、内部研修、外部研修等で、認知症について、接遇について等利用者の行動や考えを深く理解し利用者が笑顔で楽しく、幸せを感じられる生活を送れるように今後実践される事を期待します。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。</p>	<p>自己決定できるような声掛けを行うよう努めている。</p>		

グループホーム 金泉(金泉)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人1人のペースで生活できるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その人らしい身だしなみや整容の支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	できる所を行ってもらいながら一緒に調理や片付けを行うように努めている。感染予防のため、現在は職員は食事を一緒に食べないようにしている。	食事は、三食共に業者の配食を利用し、ご飯と汁物は事業所で調理している。利用者の状態に合わせて、食べやすいように形態(キザミ・とろみ・ミキサー食等)や、盛り付け(量)の工夫をして、楽しく完食出来る様になっている。利用者はテーブルを拭いたり、トレイ拭き、食器洗い、食器を拭く等、出来る事を職員と一緒にしている。おやつ作りでは、おはぎ・団子・こうへい餅・炊飯ケーキ・ホットケーキを作り、食事を楽しむ事が出来る様に支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事や水分摂取量は記録に残し、摂取量が少ない人などはこまめにすすめるように気を付けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	1人1人の排泄パターンの把握に努めて、出来るだけトイレで排泄できるようにトイレ誘導を行っている。	排泄チェック表を活用して、一人ひとりの排泄パターンを把握し、一人ひとりに応じた言葉かけや誘導をして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。排泄の失敗やオムツの使用を減らす為に、介助が必要な利用者の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄が出来るように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	運動や水分摂取を促したりは行っているが、便秘改善にはなかなかつながらず下剤を内服する事が多い。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	できるだけ一人一人の希望やタイミングに応じて入浴して頂いている。	入浴は、毎日～2日に一度入浴出来るように支援していて、お一人おひとり入浴の度に、お湯は入れ替えている。順番や湯加減を調整したり、おしゃべりをしたり、足の屈伸運動をする等、利用者が寛いで入浴出来るように支援している。入浴したくない人には無理強いしないで、入浴時間を変えたり、職員の交代、言葉かけの工夫をして対応している。利用者の状態に合わせて、清拭やシャワー浴、部分清拭等、個々に応じた入浴の支援をしている。	

グループホーム 金泉(金泉)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その日の体調に応じて休んで頂いたり、室温や寝具の調整を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明書が一覧できるようファイルにとじてあり、症状や状態変化時は記録に残している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	趣味活動や、好きな事などは継続して行って頂くように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	感染対策の為、病院受診以外の外出は出来ない。	コロナウイルス感染予防対策で、施設外への外出支援は出来ない状況であり、通院以外の外出は控えている。お天気の良い日で、体調を考慮しながら、ベランダでの外気浴や日光浴で気分転換を図っている。近々、車でのドライブで、紅葉狩りに出かける予定を立てている。併設しているディサービスもあり、施設敷地内も広く、駐車場で日光浴や外気浴や、山々の紅葉の様子を楽しめるように予定している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金を持っておられる方もおられたが、どこに置いたか紛失が増えたため現在は事務所の金庫で預かっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	希望に応じて電話や手紙のやり取りを行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用の空間は換気や掃除を行い、快適に過ごして頂けるよう努めている。季節の花を飾ったり、季節感を感じられるよう環境作りを努めている。	食堂兼リビングは、大きな窓から自然光が差し込んで明るく、窓からは周辺の野山が見えて、季節の移り変わりを感じる事が出来て、開放的である。室内は、大きな食卓やソファ、大型テレビを配置し、利用者がゆっくりとくつろげる空間となっている。壁面には、利用者の行事の時の写真や、季節の壁面飾りを飾っている。キッチンからは、調理の音や匂いがして、生活感を感じることが出来る。温度や湿度、換気、清潔に配慮し、コロナ禍の中、消毒と換気を実施して、居心地良く過ごせる様な工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食堂の席や掘りごたつなど活用して自由に過ごして頂けるよう支援している。		

グループホーム 金泉(金泉)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時に、なじみのある家具や食器類を持ってきて頂いている。</p>	<p>衣装ケース、ベッド、テレビ、ラジカセ、時計、鏡台、ハンガーラック、テーブル、椅子、衣類、化粧道具、ぬいぐるみ、本、雑誌等、使い慣れた物や好みの物を持ち込み、家族写真や自作品、カレンダーを飾って、居心地よく過ごせる様な工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>出来る事や分かる事などの把握に努め、安全な過ごしやすい環境を作れるよう努めている。</p>		

グループホーム 金泉（あんず）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を職員の目につくところに貼り、笑顔を大切に入居者と接している。接遇の研修など定期的に行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	感染対策の為、外出や直接的な交流はできていないが、広報誌などを配布するなどの活動は行っている。地域で災害が起きた時は、ボランティア活動を行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	感染対策の為、運営推進会議は書面上で行っており、意見交換を行い理解を頂けるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は書面で意見交換を行い、会議録を開示して入居者や家族に知らせている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	コロナ禍のためオレンジアドバイザーとしての活動は少ない 空室情報など伝えている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠は会議で決めて職員間で統一している。 AM6:00解錠、PM21:00施錠 その他の時間はオープン		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に社内研修で学んだり、会議などでも話し合うなどし、虐待防止に努めている。		

グループホーム 金泉（あんず）

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。	社内研修で人権や権利擁護については定期的に学び、支援に活かすよう努めている。			
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は説明し、意見を伺い話し合い、理解、納得を得ている。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の面会時などに近況報告する中で、意見や要望を伺い、対応できるように努めている。			
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	GH会議で要望を聞き取り、ユニットで声を掛けたり、話す時間を設けたりし意見や要望を聞き代表者会議等で反映させている			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職場環境などアンケートを実施し、改善を図っている 部署会議等でも職員に要望聞いたり、出来るかぎり職員の想いに添えるように努めている			
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部へ研修など情報提供し希望に添えるように取り組んでいる 施設内研修も定期的実施 社内研修は年6回実施し、その他自己啓発に努めている			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	安芸津地域の医療、介護の管理者のグループに参加しており、災害時の取り組みや支援やその他各事業所の取り組みなどを 情報共有している			

グループホーム 金泉（あんず）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	個別に関わる機会を設け、傾聴しご本人の気持ちや思いを聞くように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居してしばらくは情報を得るために時間を費やしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要とされる支援があるときには柔軟に対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の意見を尊重し、主体性を大切に関わるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族の思いを伺いながら、家族の思いを大切に支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	なじみの物や病院などの希望があれば利用している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者同士が良い関係が築けるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相談があった場合は対応している。		

グループホーム 金泉（あんず）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	関わる中で、本人の意思や希望を伺いながら対応できるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人や家族からアセスメントを行い把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の生活状況を記録に残し、状態の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	必要時や定期的にカンファレンスやモニタリングを行い、サービス内容の検討を行っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の生活状況を記録に残し、情報共有に努め、毎月モニタリングを行いサービス内容の検討を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われず、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	コロナ禍の為、外部の方との接触や外出は行えていないが、同敷地内の露天風呂を借りて入浴したりすることがあった。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	訪問美容や訪問歯科は定期的にご利用しており、個々の状態を把握して、生活の中で安心・安全に暮らせるよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	週1回の主治医の訪問往診があり、その他の方は掛かりつけへ定期的に受診している。		

グループホーム 金泉（あんず）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>特変時や必要時には報告、相談し、アドバイスを得ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は情報提供を行ったり、看護師や地域連携室との情報交換をとよう努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>高齢に伴い、今後どのように終末期を迎えるか等、必要に応じて話し合いを行い、対応できるよう努めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルを作成し、消防による指導を受け、勉強会を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練を定期的に行い、緊急連絡網で必要時は連絡をとれるようにしている。</p>		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	<p>入居者の方の尊厳を大切にして、言葉かけや対応に注意して接するように心がけている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。</p>	<p>自己決定できるような声掛けを行うよう努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>1人1人のペースで生活できるように支援している。</p>		

グループホーム 金泉（あんず）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その人らしい身だしなみや整容の支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	できる所を行ってもらいながら、食事の準備や片付けを一緒に行うように努めている。感染防止のため、現在は職員と一緒に食事を食べないようにしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事や水分摂取量は記録に残し、摂取量が少ない人などはこまめにすすめるように気を付けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	1人1人の排泄パターンの把握に努めて、出来るだけトイレで排泄できるようにトイレ誘導を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	運動や水分摂取を促したりは行っているが、便秘改善にはなかなかつながらず下剤を内服する事が多い。		
45	17	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	できるだけ一人一人の希望やタイミングに応じて入浴して頂いている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その日の体調に応じて休んで頂いたり、室温や寝具の調整を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明書が一覧できるようファイルにとじてあり、症状や状態変化時は記録に残している。		

グループホーム 金泉（あんず）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>趣味活動や、好きな事などは継続して行って頂くように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>感染対策の為、病院受診以外の外出は出来ない。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お金を持っておられる方もおられたが、どこに置いたか紛失が増えたため現在は事務所の金庫で預かっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望に応じて電話や手紙のやり取りを行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用の空間は換気や掃除を行い、快適に過ごして頂けるよう努めている。季節の花を飾ったり、季節感を感じられるよう環境作りに努めている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食堂の席や掘りごたつなど活用して自由に過ごして頂けるよう支援している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時に、なじみのある家具や食器類を持ってきて頂いている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>出来る事や分かる事などの把握に努め、安全な過ごしやすい環境を作れるよう努めている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

グループホーム 金泉(金泉)

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

グループホーム 金泉 (あんず)

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

グループホーム 金泉（あんず）

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム 金泉 (金泉)

作成日 令和 3年 11月 27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	36	余裕がなくきつい言葉になる	どんな時でも優しい言葉かけができる	<ul style="list-style-type: none">・認知症を理解する・アンガーマネジメントを学ぶ・言葉遣いを意識し言葉を発する・職員同志注意し合える環境を作る	1年
2	27	職員によって記録にムラがある	細かな変化などでも記録できる	<ul style="list-style-type: none">・入居者としっかり関わる・入居者に向き合う・状態観察をする・記録の仕方について学ぶ	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム 金泉 (あんず)

作成日 令和 3 年 11月 27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	36	余裕がなくきつい言葉になる	どんな時でも優しい言葉かけができる	・認知症を理解する ・アンガーマネジメントを学ぶ ・言葉遣いを意識し言葉を発する ・職員同志注意し合える環境を作る	1年
2	27	職員によって記録にムラがある	細かな変化などでも記録できる	・入居者としっかり関わる ・入居者に向き合う ・状態観察をする ・記録の仕方について学ぶ	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。